



鉛リサイクル原料である廃バッテリーの世界最大輸入国である韓国の輸入平均単価はこの1年間、輸入量とほどリソクしてきた。新型コロナウイルス流行による物流の混乱や滞り、鉛相場の下落によつて、7月は87㌧まで下落したが、買い戻

12月輸入量は前年同月比61・6%減の2万2135㌧。10月4万4437㌧からは半減

た10月にかけて92セントまで反発。しかし、輸入量が減つた11月は前月比3セント、12月は6セント大きく下げ、2016年8月以来の安値となつた。

トを下回って13年8月以来の低水準だった。最多を占める米国からの輸入が68・9%の8019トと急減しており、対米輸入単価も80ト以下に低下。この韓国の調達意欲のトーンはダウンの理由については不明だが、同国が輸出する地金やバッテリーの需要減少との関わりがありそうだ。

12月の鉛地金（合金含む）輸出は14・3%減の2万2756トだ

点で鉛関連の総輸出量
で衰えは表れていない。
しかし今後、これ
らの輸出面でも変化が
予想される。

スクラップ 亜鉛 現金買入
カーサイト(金型)・丹入りコロ・ダイ粒粉・その他
各種亜鉛再生塊製造販売

本社 岐阜県各務原市鵜沼朝日町1-33 TEL 058(370)4655
東京営業所 神奈川県厚木市金田391-1 TEL 046(294)3700

海外価格が急落

廃バッテリー

韓国の買い気落ちる

海外で廃バッテリー（使用済み鉛蓄電池）価格が急落している。韓国の輸入平均単価は昨年12月、前月からキロ6セント下がって3セント。指標のロンドン金属取引所（LME）鉛相場は上昇したもの、逆行安となった。輸入量は2カ月で半減し、同国の買い気は薄れてきた。発バッテリーの国内外価格差は縮小しており、今後は日本の鉛地金の輸出情勢にも響いてくる可能性がありそうだ。

が、これは対米の大口輸出が2~3カ月周期による減少。自動車バッテリー輸出は14.4%増の6万6530台と増えており、この時

リーエンジニアリングが止まつた日本と、海外の廃バッテリー市況は直接的な価格連動性はなくなつた。実際、国内価格は鉛相場につられて上昇

逆行しており、地金の輸出競争力が削がれる可能性もありそうだ。